日本都市計画学会関西支部　第22回研究発表会プログラム

2024年7月27日（土）大阪公立大学文化交流センター（大阪駅前第２ビル６階）

会場：大セミナー室

	No.		（ホールへお入りください）
10:08 ― 11:13			
セッションⅠ 【座長】 岡井有佳 （立命館大学）	1	○ 川井千敬,阿部大輔 龍谷大学大学院政策学研究科	簡易宿所の曖昧性に関する研究 – 京都市における政策的対応と宿泊施設類型に着目して –
	2	○ 赤堀怜央,近藤民代 神戸大学大学院国際協力研究科	バンライフの住まい方志向に関する研究 – Web検索エンジンを用いた５W1H 整理 –
	3	○ 高山哲弥,井上芳恵 生駒市役所経営企画部	コロナ禍を経た観光まちづくりの変遷に関する研究 – 奈良市奈良町を対象として –
	4	○ 関根仁美,加賀有津子 大阪大学大学院工学研究科	地域に対する主観的評価と生活習慣との関係
	5	○ 井谷直渡,田中一成 大阪工業大学大学院工学研究科	音源定位に基づいた都市空間の評価
	総括Ⅰ		
11:13 ― 11:25			
11:25 ― 12:54			
セッションⅢ 【座長】 三崎信顕 （大阪府都市整備推進センター）	12	○ 朴延 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター	eスポーツ施設における都市計画の適用と公共性の可能性 – 韓国と日本の事例を通して –
	13	○ 大喜多梨加,松本浩和,田中雅宣,前川友宏,西田善宏 株式会社地域未来研究所	地域参画型エリアマネジメントによる生駒駅南口の滞留空間最適化 – 社会実験の視点からの検討 –
	14	○ 藤元嵩史,嘉名光市,高木悠里 大阪公立大学大学院工学研究科	Park-PFI の民間事業者選定における審査基準と公園特性・事業特性に関する研究
	15	○ 廣山達哉,岡井有佳 近鉄不動産株式会社	エリアマネジメントの負担金制度のあり方に関する研究 – 大阪駅周辺梅田地区を対象として –
	16	○ 原口和徳 NTT社会情報研究所	スマートシティにおける取組を阻害する要因と解決策の検討
	17	○ 山内裕貴,阿部大輔	「欧州文化首都」プログラムを契機とした開催都市のその後の展開 – 「RUHR.2010」を対象に –
	18	○ 川瀬遥奈,阿部大輔 龍谷大学大学院政策学研究科	再開発事業の過程における地域性の継承可能性に関する一考察 – 大津駅西地区の再開発を対象として –
	総括Ⅲ		
12:54 ― 13:45	昼食		
13:45 ― 14:50			
セッションⅤ 【座長】 鷲尾真弓 （神戸市）	24	○ 久保田夏樹,阿部大輔 龍谷大学大学院政策学研究科	都市計画分野におけるジェンダー平等に向けた取り組みの現状と課題に関する考察 – 市町村マスタープランでの記載内容を中心に –
	25	○ 山下真里佳,山本雄大,西堀泰英 大阪工業大学大学院工学研究科	地域コミュニティ活性化と新たな担い手確保のプロセス – 既往研究のレビューを基に –
	26	○ 恒松勇輝,竹村文華,井倉雅子,中村昇 株式会社日本インシーク	地域資源の保存・活用における住民参加手法の検証 – 交野市のフェノロジーカレンダーの作成を通して –
	27	○ 長宗武司,中村良平,林秀星 新見公立大学健康科学部	情報通信業の集積とエージェントベースモデルによる自己組織化シミュレーション
	28	○ 宮下晴凪,阿久井康平 大阪公立大学大学院現代システム科学研究科	空き家利活用による地域コミュニティ施設の改修・管理・運営プロセスの特徴 – 滋賀県栗東市「光の穂」・竜王町「ひだまり学舎」を対象として –
	総括Ⅴ		
14:50 ― 15:00	休憩		
15:00 ― 16:17			
セッションⅦ 【座長】 中井翔太 （地域計画建築研究所）	36	○ 十鳥祐輔,清水優汰,吉浦丈大,山口行一 大阪工業大学大学院工学研究科	避難誘導方策がもたらす混雑危険度に関する分析 – マルチエージェントシミュレーションを用いて –
	37	○ 石榑督和,松井敬代,ハミルトン塁 関西学院大学建築学部	1925年の北但大震災後の城崎における区画整理に関する図面史料について
	38	○ 長尾元輝,近藤民代,葛西りサ 神戸大学大学院工学研究科	住居喪失危機から生活再建に至る過程に対応した支援プログラムの実態と課題
	39	○ 福島麻斗,石原凌河 株式会社サーベイリサーチセンター	東日本大震災の被災地域における民間診療所の移転実態と評価に関する研究
	40	○ 山田章子	住宅の着工状況・空き家の発生状況と人口動態に関する研究 – 神戸市と他の政令指定都市との比較から –
	41	○ 森崇太,関口達也 京都府立大学大学院生命環境科学研究科	京都府宇治市における空き家の発生要因に関する研究 – 空き家になりやすい町丁目・建物・所有者の特徴分析 –
	総括Ⅶ		
（ホールへお入りください）			

会場：ホール

	No.		開会の挨拶　支部長挨拶
10:00 ― 10:08			
10:08 ― 11:25			
セッションⅡ 【座長】 木村優介 （大阪工業大学）	6	○ 深野聡実 ,阿久井康平 京都大学大学院人間・環境学研究科	軍都大阪の計画思想と都市形成に関する研究 – 大阪砲兵工廠を基軸とした大阪城周辺市街地への影響 –
	7	○ 平田廉,轟慎一 滋賀県立大学大学院環境科学研究科	戦後高島における撚糸業・織物業の工場建築と敷地空間構成の変遷 – 滋賀の繊維業における空間資源の継承と活用に向けて –
	8	○ 吉田瑞希,服部圭郎 龍谷大学政策学研究科	天守を擁する近世城郭の都市の象徴性の研究 – 『私の伊賀上野城』の分析より –
	9	○ 川崎修良 徳島大学人と地域共創センター	信仰に関わる文化的景観要素を含む世界遺産の領域化プロセスの研究 – 沖縄・斎場御嶽のゾーニングを手がかりに –
	10	○ 石黒壮真,阿部大輔 龍谷大学大学院政策学研究科	欧州における近現代建造物の保全に向けた遺産登録の取り組みに関する研究
	11	○ 松本安弘,阿部大輔 龍谷大学院政策学研究科	台湾の軍事関係者集住地区「眷村」跡の保存プロセスに関する研究 – 台湾高雄市を対象として –
	総括Ⅱ		
11:25 ― 11:35	休憩		
11:35 ― 12:40			
セッションⅣ 【座長】 栗山尚子 （神戸大学）	19	○ 山田華梨,嘉名光市,高木悠里 株式会社URリンケージ	小学校と中学校の校歌にみる北摂の地域イメージに関する研究
	20	○ 小藤由瞳,岡井有佳,麻生美希 立命館大学大学院理工学研究科	バッファゾーンにおける歴史的町並みの景観規制に関する研究 – 元興寺周辺を対象として –
	21	○ 杉本千一,武田重昭,松尾薫,加我宏之 大阪公立大学大学院農学研究科	大阪市におけるオープンカフェの水と緑の景観から捉えた魅力の解明
	22	○ 筈谷友紀子 株式会社地域計画建築研究所	地域の魅力を引き立てる景観形成の取り組みと計画の検討について – 開発圧力の低い地方における取り組み事例の報告 –
	23	○ 丸田絢音,松尾薫,武田重昭,加我宏之 大阪市建設局	神戸市塩屋の景観基盤と沿道景観の魅力の解明
	総括Ⅳ		
12:40 ― 13:45	昼食		
13:45 ― 15:14			
セッションⅥ 【座長】 杉浦啓太 （茨木市）	29	○ 井下晃介,紀伊雅敦,松本邦彦 大阪大学大学院工学研究科	廃止された遊戯道路の空間構成とその周辺の環境特性
	30	○ 小林将太朗,阿久井康平,高木悠里,嘉名光市 大阪公立大学大学院現代システム科学研究科	歩行者利便増進道路に着目した制度展開プロセスの特徴と課題に関する研究 – 松本市・福山市を対象として –
	31	○ 桑野稜市,岡井有佳 阪急阪神不動産株式会社	道路特性ごとの恒常的な道路活用のあり方に関する研究
	32	○ 白石悠,紀伊雅敦,松本邦彦 大阪大学工学部	配慮意識に着目した公共空間における芸人の練習活動の特徴
	33	○ 中前涼太,田中一成 大阪工業大学大学院工学研究科	都市空間における路面舗装と行動特性
	34	○ 遠藤真仁,嘉名光市,高木悠里 大阪公立大学大学院工学研究科	都心部メインストリートにおける滞留スポット周辺の通行行動の実態に関する研究 – 社会実験・御堂筋チャレンジ2022を対象として –
	35	○ 中川結介,青木嵩 東大寺学園高等学校	複合商業施設前の小規模屋外空間における夜間滞留者行動分析 – 大阪市阿倍野区　あべのHoopを事例に –
	総括Ⅵ		
15:14 ― 15:25	休憩		
15:25 ― 16:42			
セッションⅧ 【座長】 大庭哲治 （京都大学）	42	○ 池上将史,福島麻斗,石原凌河 元龍谷大学	鉄道駅の維持管理手法に対する住民評価に関する研究 – JR桜井線畝傍駅を事例に –
	43	○ 萩原瑞樹,小塚みすず,吉田正樹 神戸市立工業高等専門学校都市工学専攻	神戸市営地下鉄駅構内におけるエスカレーター事故の特徴分析 – 2011年度～2023年度のデータに基づいて –
	44	○ 沢田翔馬,木村優介 大阪工業大学大学院工学研究科	印象評価実験による自転車レーンのピクトグラム表示の分析
	45	○ 武田裕之 大阪大学大学院工学研究科	道路維持管理に対する支払い意思額と将来世代との負担分配に対する意識
	46	○ 入江亘,岩崎寛之,山口行一 大阪工業大学大学院工学研究科	路線バスとの関係性に着目したシェアサイクルの利用実態分析 – 摂津市を対象に –
	47	○ 藤本瑞生,山口行一,横山広充 大阪工業大学大学院工学研究科	アイトラッカーを用いた事故多発交差点におけるハザード知覚に関する分析
	総括Ⅷ		
16:42 ― 16:47	休憩		
16:47 ― 16:57	弊会の挨拶		